

与論町庁舎建設検討委員会 会議録

会議名	第7回与論町庁舎建設検討委員会
会議の日時	平成28年7月4日 午後4時～午後6時
会議の場所	現地調査箇所及び役場庁舎3階 委員会室
議長	委員長（副町長） 久留 満博
説明者	事務局（総務企画課 係長）竹村 栄作
書記	事務局（総務企画課 係長）竹村 栄作
出席者	21人（別紙出欠簿のとおり）

- ＜現地調査＞ ① 砂美地来館周辺
② 旧診療所及び中央公民館周辺

＜会次第＞

- 1 開会、2 委嘱状の交付、3 委員長あいさつ、4 議事、5 閉会

＜配布資料＞

- 1 平成28年度庁舎建設検討委員会委員名簿
- 2 第6回会議録
- 3 庁舎建設候補地（各エリア）航空写真
- 4 住民説明会日時及び会次第等
- 5 住民説明会資料

■議事1

議題	第6回与論町庁舎建設検討委員会会議録の公表について
内容	（事務局）第6回の検討委員会の会議録は、事前に配布した資料の2ページから11ページまでとなっております。この内容でホームページに掲載したいと考えています。 （委員長）第6回の会議録公表に当たっては、ホームページ上で公表する際に第7回の委員会を新年度早々にも開催するとしていましたが、こちらの不手際で開催が遅れましたことをお詫びします。その後、熊本地震が発生したことで、本町の庁舎を取り巻く状況も変わってきたのかなと考えておりますが、これについては後程ご説明したいと思います。では、第6回の会議録についてはこの内容で公表してよろしいでしょうか。 ～異議なし～

■議事 2

議題	候補地についての意見交換
内容	(委員長) これまでの検討委員会で、候補地を 5 か所に絞りその中で優先順位を付け、本日は砂美地来館周辺と中央公民館周辺の現地調査を行った所です。先程は実際に現地を見ていただきましたので、感想やご意見があればお願いしたいと思います。 (委員長) 5 か所に絞った候補地エリアの評価の段階では、東北の震災や津波被害を想定した評価結果となっていたと思いますが、熊本地震による被害の状況を見ますと島内にある断層についても考慮しないといけなく考えておりまして、特に砂美地来館周辺から琴平に向かっては断層が伸びているようです。資料を回覧しますのでご覧いただき併せてご意見ををお願いします。 (委員) 用地の交渉・買収ができそうなところでないと前に進められないのではないかな。 (委員長) 本日皆さんと現地調査を行っている最中に、ここの土地は交渉が難しいのではないかなという場所もありましたので、過去に交渉ができなかったところは非常に難しいと思っています。 (委員) 場所の選定をして用地買収ができない場合はどうするんですか。 (委員長) いくつかの場所を候補にし進めると、ここはだめだからあっちにしようとする、ますます定まらなくなると思います。 (委員) ここがだめだから、あっちにしようという考え方にすると、いつまで経っても決まらないと思う。 (委員) ここで決まったところを押していくやり方かな。 (委員) 砂美地来館周辺については、砂美地来館の建設の際に駐車場用地としてお願いしたところもあるが、まったく話は前に進まなかった経緯がある。そういう中で、砂美地来館周辺から予定地を上げた場合に町として交渉ができるのか、非常に難しいのではないかな。 (委員) 中央公民館はいつ建て替えの予定ですか。 (事務局長) 今のところ計画はない。 (委員) 今後建て替えが必要であれば、用地の確保も必要になるのではないかな。 (委員長) 公民館の建て替えについては、短期的な計画の中にはありません。 (委員) 砂美地来館周辺の用地で、南側についてはいいのではないかな。 (委員) こちら側についても、過去の用地交渉の中で難しいという箇所がある。 (委員) 一般町民からは、叶地区に公共施設が集中して建っているという声があるということも考えないといけないのではないかな。

(委員) 旧診療所跡の面積はどれくらいあるのか。

(事務局) 旧診療所跡地は、今建っている施設を含めた用地の面積が 6,193 m²、保健センターが建っている用地の面積が 622 m²です。ここに建てるとすると、築年数が浅い保健センターを残して、包括支援センター、旧診療所、医師住宅を取り壊して整地したうえでの建設になってくると思います。

(委員) そう申し上げるのは、旧診療所であれば町の施設であり、土地交渉の手間が省けるということからお聞きしているわけです。町の持ち物を活用するということから非常に簡素化できるのではないかと。

(委員) 旧診療所は現在も鹿児島大学に貸しているわけで、メリットはあるでしょうけれど、有意義な活用ができないのであれば再利用・再開発するのでもいいのではないかと。

他の候補地を事務局でここが大丈夫だよと言えればいいが、現庁舎はもう待てない状況にあるわけで、これが潰れてしまったらどうするのか。

(委員) その用地だけで足りるのか。

(委員) 足りない場合は、保健センターの後ろ側が所有者は 1 人で、多数ではないので用地交渉の余地があるのではないかと。

(委員) 熊本の震災を考えると、緊急時のヘリポートが非常に大事だと思います。それも勘案していただきたい。

(委員長) これまでの町の公共事業の進め方としては、必要最小限の土地を購入して、そこにはめ込んでいったものですから、後で駐車場用地を借りたり色んなことをやって凌いでいるのが現状です。ある程度目的を持って面積確保ができれば非常にいいのかなと思っております。

(委員) 旧診療所の場所であれば、商店街にもそれほど離れていないので流れ的にはいいのではないかと。

(委員長) 保健センターの北側の道路をみますと、大型車が 1 台しか通れない状況ですが。

(委員) そこは道路を拡張するしかないのではないかと。

(委員) 2 階以上を建てるとすればこの面積で入ると思うので、あとは駐車場用地を確保する必要がある。

(委員長) 平屋にするのであれば 2,000 m² プラス駐車場が必要になります。2 階建てであれば建物面積が 1,000 m² プラス駐車場という形になると思います。役場は防災の拠点施設になっていきますので、それ相当の駐車場を確保しておかないといけないと思います。

(委員長) 中央公民館周辺で道路事情を考えますと、県道に面した用地がベストな

	のかなとも考えられます。 (委員) 以前、茶花小学校の移転を検討した際に、県道近くの用地は候補に上がっていましたが、用地交渉が前に進まず断念した経緯がある。 (委員) 茶花小学校の避難場所として考えた場合は、県道沿いの用地が標高が 15m 程であるが、旧診療所の敷地の高さに建てられれば、30mを超えるので安心して避難させられるのではないか。 (委員) 保健センターの後ろの用地交渉ができるのであれば、ここがいいのではないか。 (委員長) 今までに出た意見をまとめてみますと、今日の現地調査は砂美地来館の周り中央公民館の周辺ということで調査しましたが、砂美地来館の周辺については地権者との交渉が前に進まないのではないかとというのが多くの意見で、中央公民館周辺については、茶花小学校の正門のところが、だいたい海拔 15m です。中央公民館の西側につきましては、22、23m 程の海拔がある土地です。茶花小学校からするとそれ程高低差がないことになります。これまで意見が多かった旧診療所の後ろ側を道路の整備をしながらすれば、海拔的にも非常にいいのではないかというご意見です。旧診療所になった場合には、道路の拡張は並行してやっていかないとはいけません。 本日の予定地検討につきましては、旧診療所から保健センターの北側で意見がまとまりました。委員会の中での意見として、これでまとめてよろしいでしょうか。 ～～～ はい。～～～
--	--

■議事 3

議題	住民説明会日時及び会次第等
内容	(事務局) 資料は、今見ていただいている庁舎建設検討委員会の一番最後の 15 ページです。 資料説明 (委員) 説明会の際に、町民用にもテーブルを配置してください。 (委員) 委員席を設けてありますが、委員については町民と同じ場所にしてください。 (事務局) 当日の配布資料の説明 (委員) 離島の低炭素づくり推進事業のなかで、町としても再生可能エネルギーの推進に取り組んで行こうと計画したのですが、今度の説明会の中で町民から再生可能エネルギーの導入について質問があった場合はどうするのですか。 (事務局) 今年度策定する基本構想において導入を検討し、導入が決定した場合は基本計画等にて詳細にする必要があります。

	(委員) 次の検討委員会あたりではそういうことが議題にあがってくるのか。 (事務局) 基本構想の策定については、作業が進み次第、随時開催する予定です。 (委員) 庁舎は平屋及び2階建てを想定していますが、その屋上を職員等の駐車場にする構想はありませんか。また、職員が役場に出勤する場合に自転車を利用したり排気ガスを出さない車両の導入などでエコを推進するテーマを構想に盛り込んで、町民の意識改革に繋げていくことはできないか。 (事務局) 新庁舎のイメージやテーマなど全体的なことについては基本構想に盛り込みますので、今年度中に検討し基本構想に盛り込んでいきたいと思っています。 (委員長) 屋上に駐車場を整備するというのは、どうしても敷地が足りない場合になると考えています。その場合はスロープ等も必要になるので、それを取り付ける予算では用地を購入して広い駐車場を整備した方が安くつくのではないかと考えていますので、今後検討していきましょう。 (委員) 屋上の案は、駐車場がどうしても確保できない場合の、発想の転換として申し上げたところです。 (委員) 今回から委員に就任しました。これまで、何度も検討委員会を重ね、現在までの状況について住民説明会を開催するという事で、住民説明会で公表して基本構想に繋げていくというのは大変いいことだと思います。 (委員) 会議録の公表に当たっては、毎回いいですよと了解を得てから公表していますが、公表した会議録に対して意見等がありますか。 (事務局) 新聞社さんから次回の検討委員会の開催や会議録の掲載等についての問い合わせはありますが、町民から問い合わせをいただいたことは無いのではないかと考えています。 (委員) 今はSNSが発達しているので、個人間での意見の交換はあるかもしれませんが、役場に対しての質問は無いのかもしれませんが。 (委員長) 今度の住民説明会の後には、色んな意見が出てくるかもしれません。
--	---

■議事 4

議題	その他
内容	(委員) この前の新聞記事では、現在の役場から分散して仮事務所にすぐに移転するとありました。いつ頃移転するのか、どの課はどこに移転するというふうに、住民へ説明する必要があるのではないかと。 (委員長) 庁舎建設検討委員会の中では、東北の津波被害を念頭に高台へ移った方がいいという意見がたくさん出ておりまして、それで話が進んで参りました。ところが4月に発生しました熊本の地震の後には、宇土市役所の現状や熊本県内で数力所

の庁舎が機能を果たせず非常に大変な状態にあるようです。そういった中で、与論の庁舎はどうかと町民の皆さんからも色んなご意見をいただいております。ある建築専門の方からは、役場の2階の廊下はちょっと危ないんじゃないかという指摘もありました。多数の町民が出入りしている中で、いつ何時起きるか分からない地震に対し、早めに人命第一、安全第一で分散してでも事務所を移転しなければならないと考えているところです。移転先としては、既存の施設に分散するか新耐震基準を備えた昭和56年以降に建てられた建物に一カ所にまとめて移転するか、様々な意見がありまして、また、町有地に仮庁舎を造った場合も屋内運動場の中に仮設を造った場合もそれなりに費用がかかることから非常に悩んでいるところです。できましら中央公民館や旧診療所などに分散してでも最小の経費でできるような形を取りたいと考えているところです。

(委員) 新聞で公表していたので既に移転が始まっているのかと思っていました。旧診療所については、鹿児島大学とも協議してできるだけ分散しない形で、新庁舎ができるまでの対応をするか、紬織工養成所も1階2階が使えますので民間に貸している施設で雇用面からも企業誘致は大切ですが、そこは理解していただき出てもらい公共施設をうまく活用していくというやり方で対応していただきたい。

(委員長) 新庁舎については、早くても平成32年からの使用になりますので今年度を入れると4年後になります。それまでに現庁舎が大丈夫かと言われると、誰も保証できず、万が一事故でも起きれば取り返しのつかないことになりますので移転費用も確かに掛かりますが、皆様方にもご理解いただきこういった形で進めて行きたいと考えています。

(委員) 3階の軒天などを見ると、これはまったなしだと思います。

(委員長) 3階部分については、軽量鉄骨で後から増築した建物ですので、腐食も進み台風であちこち穴があいたりしていることから、台風で万が一飛ばされたりすると大変な被害になりますので、早く取り壊さないといけないと考えています。

(委員) 21日のまちづくり懇談会、庁舎建設の説明会までに仮庁舎への移転については、どういう方法・形で進めて行きますという方向性を固めて説明できるようにしておかないと、説明会で質問が出てあやふやだと困りますので。

(委員長) 外に何かご意見はありませんか。

(委員) 喜界島では、最初商工会は移転反対だったそうです。しかし、金融機関は移転しませんし、役場の前に店ができたとしても、役場では役場の用事だけして入口の店にはわざわざ入らないそうです。商工会の役員の皆さんは、移転は商店街には全然影響しませんよということでした。

(委員) 天城町でも今は車で移動することから、商店街に影響はないと言っていま

	した。 (事務局) 検討委員会の開催時間についてですが、今回は現地調査があったため昼の時間に設定しましたが、次回からはこれまで通り夕方から夜にかけての時間帯に開催します。 (委員長) それでは、以上で終了します。ありがとうございました。
--	---

第7回与論町庁舎建設検討委員会出欠簿

No.	職 名	氏 名	H28.7.4
			出 欠
1	茶花自治公民館長	山本 池富	○
2	立長自治公民館長	原 栄徳	○
3	城自治公民館長	川畑 俊光	○
4	朝戸自治公民館長	池田 吉光	○
5	西区自治公民館長	内野 豊信	○
6	東区自治公民館長	永井 弘	×
7	古里自治公民館長	竹 盛隆	○
8	叶自治公民館長	原田 新一郎	×
9	那間自治公民館長	山下 健勇	○
10	地域女性団体連絡協議会長	高田 りえ子	○
11	連合青年団長	池田 一樹	×
12	壮年会連絡協議会長	富士川 浩通	○
13	与論町老人クラブ連合会長	竹内 充啓	○
14	あまみ農業協同組合 与論事業本部 統括理事	南 仁孝	○
15	与論町漁業協同組合 代表理事組合長	町 英八郎	○
16	商工会長	田畑 克夫	○
17	ヨロン島観光協会会長	永井 新孝	×
18	体育協会会長	川上 政雄	○
19	文化協会会長	和田 きみ子	○
20	消防団長	富田 修平	×
21	社会福祉協議会長	大田 元茂	×
22	公益財団法人鹿児島県交通安全協会与論地区協会	野本 勝彦	○
23	町PTA連絡協議会長	沖 道春	×
24	副町長(委員長)	久留 満博	○
25	教育長(副委員長)	町岡 光弘	○
26	総務企画課長(事務局長を兼務)	沖島 範幸	○
27	町民福祉課長	酒勺 徳雄	○
28	商工観光課長	山下 哲博	○
		出席者の計	21

No.	事務局	氏 名	出欠
1	事務局長(総務企画課長)	沖島 範幸	○
2	事務局(担当:総務企画課 係長)	竹村 栄作	○
3	事務局(副担当:総務企画課主幹兼係長)	野口 芳徳	×